

BEST AVAILABLE COPY

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-209325

(43)Date of publication of application : 28.07.2000

(51)Int.Cl.

H04M 1/57
H04Q 7/38
H04M 1/00
H04M 1/725

(21)Application number : 11-008831

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 18.01.1999

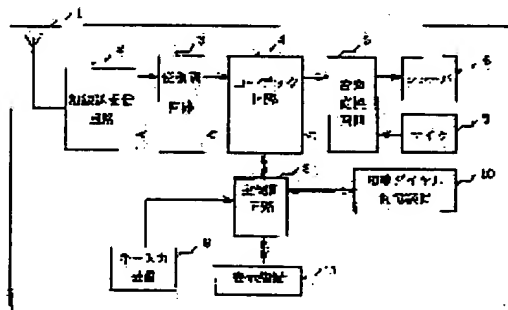
(72)Inventor : TAKAHASHI TOKUKAZU
OBUCHI TSUYOSHI

(54) COMMUNICATION TERMINAL EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically select the function of communication terminal equipment in accordance with a caller at the time of an incoming call and to effectively use a finite resource by providing a means storing function selection information showing the function selection propriety in accordance with a connection counterpart number in a storage means.

SOLUTION: An abbreviated dial number, and function selection information on the permission/non-permission of a recording function and the permission/non-permission of a transfer function in accordance with a connection counterpart number are stored in an abbreviated dial storage device 10. A main control circuit 8 takes out caller number information informed from a line from information obtained in a CODEC circuit 4 and retrieves the telephone number stored in the abbreviated dial storage device 10. When the telephone number of a caller is in the abbreviated dial storage device 10, it is judged whether a recording function is permitted or not. Only when it is permitted, recording function permission is set. Then, it is judged whether the transfer function is permitted or not, and transfer function permission is set only when it is permitted.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-209325
(P2000-209325A)

(43) 公開日 平成12年7月28日 (2000.7.28)

(51) IntCl ⁷	識別記号	F I	テマート* (参考)
H 0 4 M 1/57		H 0 4 M 1/57	5 K 0 2 7
H 0 4 Q 7/38		1/00	E 5 K 0 3 6
H 0 4 M 1/00		1/72	B 5 K 0 6 7
1/725		H 0 4 B 7/26	1 0 9 L

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平11-8831

(22) 出願日 平成11年1月18日 (1999.1.18)

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 高橋 徳和

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地 株

式会社日立製作所マルチメディアシステム

開発本部内

(72) 発明者 大淵 堅

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地 株

式会社日立製作所映像情報メディア事業部

内

(74) 代理人 100068504

弁理士 小川 勝男

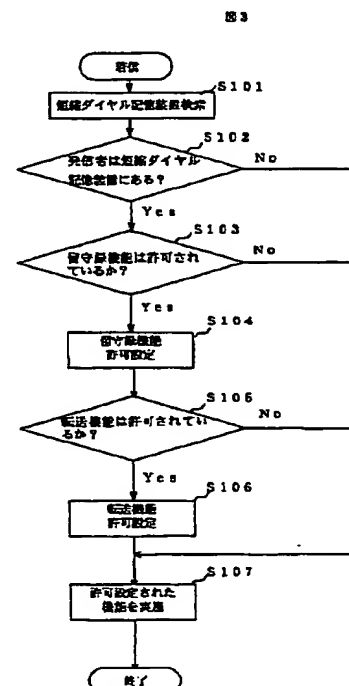
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 通信端末装置

(57) 【要約】

【課題】 着信時に発信者に応じて通信端末装置の機能選択を自動的に行ない、通信端末装置内の有限資源を有効利用する。

【解決手段】 接続相手番号を記憶する手段に機能選択情報も記憶し、着信時に通知される発信者番号情報と前記記憶手段に登録された番号を比較し、一致した場合には付随して登録されている機能選択情報により機能を選択する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 接続相手番号を記憶する記憶手段を具備し、前記記憶手段にその接続相手番号に対応して機能の選択可否を示す機能選択情報を記憶する手段も具備することを特徴とする通信端末装置。

【請求項 2】 着信時に相手番号と前記記憶手段に登録された番号を比較する手段と番号が一致した場合には、登録された機能選択情報により機能を選択する手段を具備したことを特徴とする請求項 1 の通信端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、短縮ダイヤルが登録可能な I SDN 端末やデジタル携帯電話などの端末装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 現在 I SDN 端末やデジタル携帯電話装置同士の通話の場合に、発信電話番号通知サービスが行われており、平成 10 年度からは、アナログ電話網においても本サービスが開始されている。

【0003】 しかしながら従来技術では、たとえば特公昭 63-32305 号公報のように発信電話番号サービスを利用して、着信時に通知される発信者番号情報を端末装置内に記憶された情報と比較し、一致した名称を表示する程度であった。

【0004】 また従来技術では、専用キー等により各機能を選択登録した状態を切り替える方法があるが、発信者特有の機能選択を行なうことが出来ない不自由さがあった。

【0005】 さらに従来技術では、端末装置内の有限資源である記憶手段に特定の相手のみの情報を記憶する等の効率よい使用方法ができないため、使用者に不利益な状態を招くという不都合があった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、上記の事情に着目してなされたもので、その目的とするところは、発信電話番号サービスにより通知される発信者番号情報により、端末装置の機能選択を自動的に行ない、発信者に応じた機能を自動選択する端末装置を提供するとともに端末装置内の有限資源を効率よく使用するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために請求項 1 記載の通信端末装置は、接続相手番号を記憶する手段に機能選択情報も記憶することを特徴とするものである。

【0008】 また、上記目的を達成するために請求項 2 記載の通信端末装置は、着信時に通知される発信者番号情報と前記記憶手段に登録された番号を比較し、一致した場合には付随して登録されている機能選択情報により機能を選択することを特徴とするものである。

【0009】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施例を詳細に説明する。

【0010】 図 1 は、本発明の一実施例を示す通信端末装置のブロック図であり、1 は通信端末装置、2 は無線を送受信する回路、3 は変復調回路、4 は時分割多重制御を行うコーデック回路、5 は音声デジタル信号に変換圧縮する音声変換回路、6 はレシーバ、7 はマイク、8 は端末全てを制御する主制御回路、9 はダイヤル数字等を入力するキー入力装置、10 は短縮ダイヤル情報を記憶する短縮ダイヤル記憶装置、11 は相手先番号等を表示する表示装置である。

【0011】 図 2 は、短縮ダイヤル記憶装置 10 に記憶された短縮ダイヤル情報の一例を示す模式図である。この図のように短縮ダイヤル番号、接続相手番号に対応付けて録音機能の許可／不許可、転送機能の許可／不許可等の機能選択情報を登録することができる。機能選択情報は、例として録音機能・選択機能とした。

【0012】 図 3 は、本実施例の形態に係る通信端末装置 1 における制御手順を示すフローチャートである。

【0013】 次に動作について図 1 及び図 3 に基づき説明する。通信端末装置 1 の使用者はキー入力装置 9 で相手の電話番号と機能選択情報を短縮ダイヤル記憶装置 10 に入力する。通信端末装置 1 は、無線送受信回路 2 で受信した情報を変復調回路 3 で復調し、さらに復調したデータをコーデック回路 4 でデコードする。主制御回路 8 は、コーデック回路 4 で得られた情報から回線より通知される発信者番号情報を取り出し、ステップ 101 で短縮ダイヤル記憶装置 10 に記憶されている電話番号を検索する。該検索の結果、次のステップ 102 で発信者の電話番号が短縮ダイヤル記憶装置 10 にあるか否かを判断する。

【0014】 そして、発信者の電話番号が、短縮ダイヤル記憶装置 10 にあれば、ステップ 103 で録音機能は許可されているか否かを判断し、許可されている場合のみステップ 104 で録音機能許可設定を行なう。同様にステップ 105 で転送機能は許可されているか否かを判断し、許可されている場合のみステップ 106 で転送機能許可設定を行なう。そして、ステップ 107 で許可設定された機能を実施して本処理動作を終了する。

【0015】 一方、前記ステップ 102 で発信者の電話番号が短縮ダイヤル記憶装置 10 に無いと判断された場合は、そのまま前記ステップ 107 に進む。

【0016】 以上、詳述したように本発明の通信端末装置によれば、たとえば、発信者の電話番号が、短縮ダイヤル記憶装置 10 に録音機能不許可で転送機能許可で登録されている場合には、この発信者からの着信時に応答しない場合にのみ自動的に転送先に転送することが可能になり、録音機能許可で登録されている場合のみ録音機能を実施するようにすれば、発信者番号通知のない相手

からの電話は、録音することがないので、通信端末装置内の有限資源である記憶手段を効率よく使用できるという効果を奏する。

【0017】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、発信電話番号サービスにより通知される発信者番号情報により、端末装置の機能選択を自動的に行ない、発信者に応じた機能を自動選択する端末装置を提供することが可能になるとともに端末装置内の有限資源を効率よく使用することが可能となり、使用者の利便性も高まるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例による通信端末装置のブロック図である。

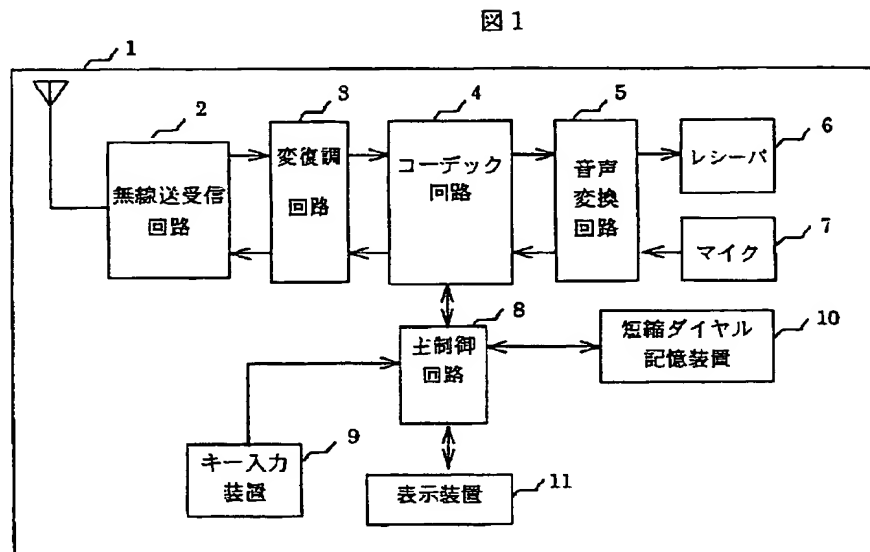
【図2】この発明の一実施例による通信端末装置の短縮ダイヤル記憶装置に記憶された短縮ダイヤル情報の一例を示す模式図である。

【図3】同実施の形態に係る通信端末装置における着信動作の制御手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

1…通信端末装置、2…無線送受信回路、3…変復調回路、4…コーデック回路、5…音声変換回路、6…レシーバ、7…マイク、8…主制御装置、9…キー入力装置、10…短縮ダイヤル記憶装置、11…表示装置。

【図1】



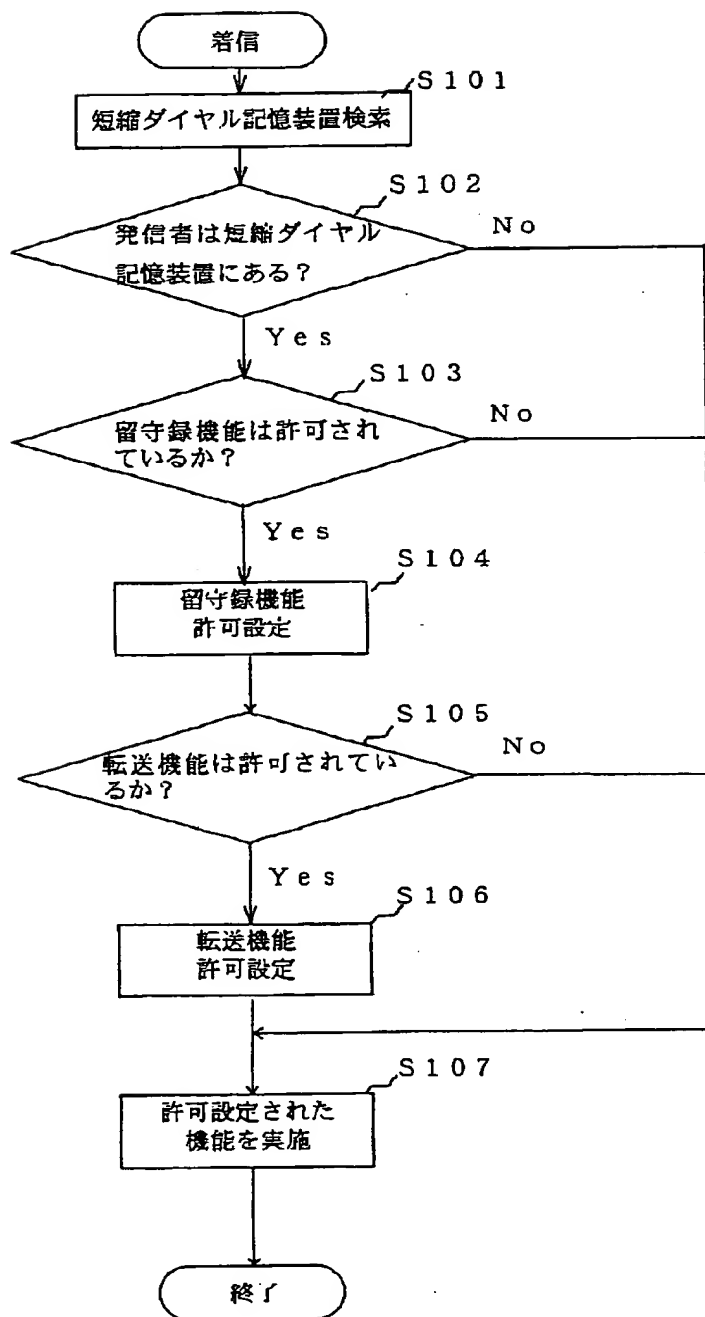
【図2】

図2

短縮ダイヤル番号	接続相手番号	録音機能	転送機能
001	123-4567	許可	許可
002	045-111-2345	不許可	不許可
003	111-2345	不許可	許可
⋮	⋮	⋮	⋮

【図3】

図3



フロントページの続き

Fターム(参考) 5K027 AA10 AA11 BB01 CC02 CC08
HH08 HH23
5K036 AA01 AA02 AA07 AA14 DD11
DD32 JJ05 KK06 KK09
5K067 BB04 DD13 DD17 DD27 FF07
GG11 HH22 HH23 HH24